2025학년도 중등학교교사 임용후보자 선정경쟁시험

일 본 어

수험 번호 : (　　)　　**성　명 : (　　)**

제1차 시험	3교시 전공B	11문항 40점	시험 시간 90분

○ 문제지 전체 면수가 맞는지 확인하시오.
○ 모든 문항에는 배점이 표시되어 있습니다.

※ 答えはすべて日本語で書くこと。

1. 次の<A>を読んで、<B>の(①)と(②)に入ることばを下線部ⓐから選び、それぞれ書きなさい。[2点]

<A>

形は違っていても意味は似かよっている語を類義語という。その中で韓国人学習者がよく間違える類義語として、「用意・ⓐ準備・支度・備え」などが挙げられる。これらの語はいずれも「あることを行うにあたって、前もって整えておくこと」という意味を持つため、相互に置き換え可能な場合もあれば、互いに置き換えが難しい場合もある。

<B>

用例	(①)	用意	(②)
○ (　　)はできた。さあ、出発だ。	○	○	○
○ どう？(　　)は着々と進んでいる？	○	×	×
○ 本当に(　　)周到な人ですね。	×	○	×
○ 急いで身(　　)をして出かけよう。	×	×	○

○: 使える　×: 使えない

2. 次の(　ⓐ　)に入ることばを書きなさい。また、(　ⓑ　)に入る漢字を書きなさい。[2点]

日本語の漢字は、音読みと(　ⓐ　)という2種類の読み方がある。音読みは、おおむね3種類に分けられるが、それは、その漢語がどの時代に、中国のどの地方から伝わったかに由来する。(　ⓐ　)は、和語を漢字で書き表したり、漢字を和語で読んだりしたことから発生したものである。1つの漢字に読み方が複数ある場合も多くあり、学習者にとっては悩みの種である。

なお、同じ漢字で書かれる語のなかには、その意味によって読み方が異なるものもしばしば見られる。たとえば、(　ⓑ　)の読み方は、「その道で特にすぐれた人、巨匠」という意味と、「貸家の持ち主、家主」という意味の場合とで違う。日本語における漢字の読み方にはなかなか面白いところがある。

3. 次の<A>と同じ時間的事柄を表すものを<B>のⓐ～ⓓから１つ選びなさい。また、<B>のⓐとⓓの相違点を、＜条件＞に従い説明しなさい。[4点]

＜A＞

○ 東京に行って、かばんを買う。

＜B＞

ⓐ 東京に行く時、かばんを買います。
ⓑ 東京に行った時、かばんを買います。
ⓒ 東京に行く時、かばんを買いました。
ⓓ 東京に行った時、かばんを買いました。

＜条件＞

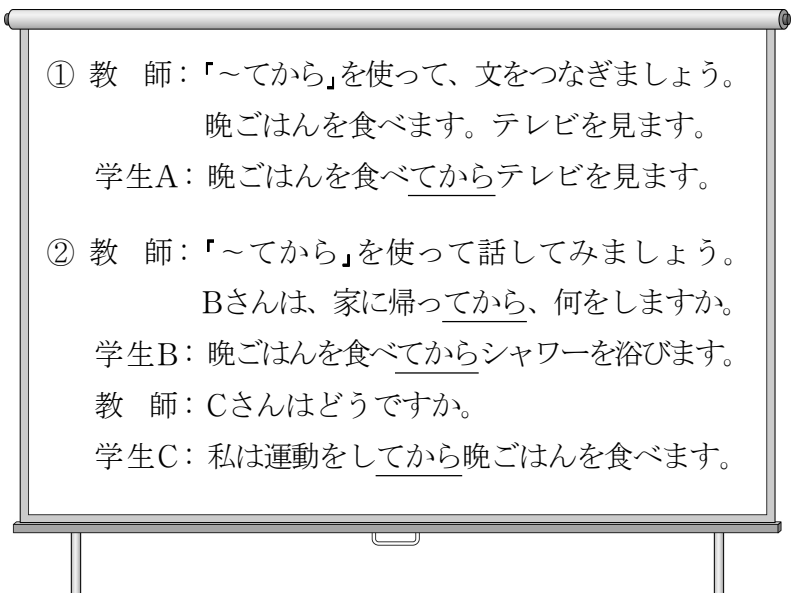
○ テンスの観点から主節について説明すること
○ 主節と従属節の時間的関係について説明すること

4. 次の＜A＞は日本語指導法についての授業であり、＜B＞はその授業で提示されたスライドである。(　ⓐ　)と(　ⓑ　)に入ることばをそれぞれ書きなさい。また、①と②の相違点を、＜条件＞に従い説明しなさい。[4点]

＜A＞

ユン：先生、来週の模擬授業で、色々な教材や教具を使おうと考えていますが、なかなか進まなくて…。
教師：どんな活動を考えていますか。
ユン：ロールプレイをしようと考えていますが、どうでしょうか。
教師：ロールプレイなら、実際の生活に近いコミュニケーション活動ができますね。ロールプレイを行う際には、(　ⓐ　)を作ります。そこに課題遂行のための内容を書き込んで、ロールプレイを行います。ただし、学習者への「選択権」の与え方には、気をつける必要があります。
ユン：先生、どういうことですか。
教師：ロールプレイは、「選択権、(　ⓑ　)、反応」という３つの要素が含まれた活動なんです。では、まず、「選択権」について考えてみましょう。次のスライドは、文型練習の２つの例ですが、①と②の違い、分かりますか。

＜B＞



＜条件＞

○「内容」と「表現」の観点から書くこと

한국교육과정평가원

5. 次の下線部ⓐを日本語に訳しなさい。また、下線部ⓑ~ⓔから不自然な表現を２つ選び、それぞれ正しく直しなさい。[4点]

新しい科学の姿を印象づける受賞だ。人工知能(AI)に関する研究に取り組んだ教授らにノーベル物理学、化学各賞が授与されることになった。

AIは、新材料の開発やブラックホールの研究にも活用されている。便利なツールとして利用価値はさらに高まるだろう。

ⓐ 연구 체제에도 변화가 닥쳐오고 있다. 특정 분야의 전문가뿐만이 아니라 IT 분야의 뛰어난 인재와 힘을 합치는 것이 국가 간 경쟁에서 살아남기 위해 필요하다.

しかし、AIの負の側面にもⓑ目を向かなければならない。物理学賞に決まったトロント大のジェフリー・ヒントン名誉教授はかつて米グーグルに在籍していた。ⓒ警鐘を鳴るために退職し、「AIが人間より賢くなり、ⓓ手に負えなくなったら脅威となる」と話している。

原子力がエネルギー源にも兵器にも使われるように、科学技術には常に二面性がある。人類にはそのⓔ暴走を許さないための英知が求められている。高い倫理性を持ってリスクを低減するのは、科学者の責務だ。

毎日新聞社説より改変

6. 次は茶道に関する授業である。下線部ⓐに該当するものを１つ書きなさい。また、(　ⓑ　)に入ることばを書きなさい。さらに、下線部ⓒの読み方とその意味を書きなさい。[4点]

教　師：茶道は茶会を開くために、茶室や茶道具に関する礼儀作法を身につける伝統文化の１つです。この他にも、日本には「～道」のつく色々なⓐ芸道がありますが、これらは家元制度に代表されるような世襲制になっていて、数百年という長い歴史を持っています。

学生A：そんなに昔からあるんですか。

教　師：そうなんです。例えば、茶道は16世紀後半に(　ⓑ　)が完成させたと言われていますからね。あ、「わび茶」という茶道の基礎を作ったので、茶の名人とも言われています。

学生B：先生、では、その時に茶道の正式なやり方が決まって、それがそのままずっと続いているんですか。

教　師：ああ、茶道の作法は一種類だけじゃなくて、(　ⓑ　)の子孫たちが作った「表千家」や「裏千家」などの流派がありますよ。

学生C：先生、なんで「表」と「裏」なんですか。

教　師：ああ、そうですよね。「表千家」の人たちは表通りに面した家に住んでいて、「裏千家」の人たちはそのすぐ裏の家に住んでいたので、そういうふうに呼ばれるようになったそうですよ。

学生C：へえ、面白いですね。

教　師：あ、そうそう。みなさん、ⓒ「一期一会」っていう言葉、聞いたことありますか。実は、この言葉は茶道から生まれたものなんですよ。

7. 次の<A>の(ⓐ)に入ることばを<B>の①~④から選び、その意味特徴を書きなさい。また、モダリティの観点から、下線部ⓑとⓒの判断の根拠の違いを説明しなさい。[4点]

<A>

大谷：パクさん、卒論はうまくいっている？
パク：中国語の論文を読むのが大変なんだ。卒論の締め切りまで時間がないのに、このままだと留年(ⓐ)よ。誰か手伝ってくれる人がいればいいんだけど…。あ、王さんって、まだ日本にいるかな？
大谷：もう年末だし、いないⓑかもしれない。
パク：そっか。ほかに誰かいないかな。あ！大谷くんの弟さん、中国語勉強しているって言っていなかったっけ？
大谷：いやあ、まだ勉強を始めたばっかりで、やっと簡単な文なら読めるようになったって言っていたから。論文までは読めないⓒはずだよ。

<B>

① しかねる　② しかねない　③ するかねる　④ するかねない

8. 次の<A>は聞き手行動についての説明であり、<B>は聞き返しの2つの例である。(ⓑ)と(ⓒ)に入ることばをそれぞれ書きなさい。また、下線部ⓐの聞き返しとして、より効果的なものを下線部ⓓとⓔから選び、その理由を説明しなさい。[4点]

<A>

会話において、聞き手が話し手の発話に対して示す反応を、聞き手行動という。聞き手は、話し手の発話に対して、聞き返し、オーバーラップ、割り込み等の行動をとる。

聞き返しは、相手の話したことが聞き取れないとき、ⓐ相手の話したことが理解できないとき、また、自分の聞き取ったことが正しいかを確認するときに、相手にもう一度言ってもらうように促すことをいう。オーバーラップは、(ⓑ)を取ろうとせずに話し手と同時に発話をすることで、(ⓒ)を伝える機能を持つ。割り込みは、聞き手が話したくなったときに、相手が不快に思わないタイミングか否かを考慮せずに、(ⓑ)を取ることである。

会話の指導においては、話し手としての行動だけでなく、このような聞き手行動も扱うことで、円滑なコミュニケーションを行う能力を養うことができる。

<B>

(1)	田中：ねえねえ、キムさん、大型連休、何するの？あ、帰省するとか？ キム：え？ⓓもう一度話してくれない？ 田中：もう！聞いてなかったの？ キム：ううん、ちゃんと聞いてたよ。そうじゃなくて、「キセイ」って…？
(2)	田中：ねえねえ、キムさん、大型連休、何するの？あ、帰省するとか？ キム：え？ⓔ「キセイ」…？ 田中：うん、帰省。韓国に帰るのかなと思って。 キム：ああ、「귀성」！

한국교육과정평가원

9. 次はテストの評価についての授業である。(　ⓐ　)と(　ⓒ　)に入ることばをそれぞれ書きなさい。また、下線部ⓑを用いた評価の長所を、＜条件＞に従い書きなさい。[4点]

担当教師：日本語教育における評価について見てみましょう。学習者に直接、言語運用を行わせるテストを(　ⓐ　)といいます。これは、伝統的な筆記テストのようなものではなく、実際にその言語を使って他者とコミュニケーションできる程度を測定することを目的としたものです。プレゼンテーション、スピーチ、レポート、エッセー、面接などの実技テストのことですね。

実習生：テストの点数化はどのようにすればいいんでしょうか。

担当教師：そうですね。(　ⓐ　)では、学習者が産出したり表現したりしたものをⓑルーブリックを使って質的に評価します。これを使って、学習者の発音はどうだったのか、文法的な間違いはどの程度だったのかなどの(　ⓒ　)的な側面と、課題はどの程度達成できたのかなどの内容的な側面から評価をするんです。

実習生：ああ、それなら、色々な側面からの点数化が可能ですね。

＜条件＞

○ 学習者の立場から2つ書くこと

10. 次の文章を読み、(　ⓐ　)～(　ⓒ　)に入るものを＜例＞の①～③から選び、順に並べなさい。また、下線部ⓓの読み方を書きなさい。さらに、＜A＞と＜B＞を通して導き出せる主題を、キーワード3つを含めた一文にまとめなさい。[4点]

＜A＞

人が集まる場には、ある種の「空気」が支配し、それに同調することが求められる。お葬式では(　ⓐ　)空気が支配し、人々は重い言葉を交わす。同窓会では(　ⓑ　)空気が支配し、懐かしい話題に花を咲かせる。誰と一緒にいるかによっても、その場の空気は影響を受けるだろう。ケンカしている相手と同席するはめになったときは、(　ⓒ　)空気が充満する。

空気は変化もするものだ。初対面の人と話すとき、何となくギクシャクした空気になるが、お互いの共通点が見つかったとたん、和やかな空気が流れ、話が弾む。重苦しい空気が立ちこめると、私たちのコミュニケーションは、とたんにうまく行かなくなる。穏やかな空気に満たされると、お互いの距離が近くなり、親しいコミュニケーションが可能になる。

石黒圭『日本語は「空気」が決める』より改変

＜B＞

最近、周りの人とうまくコミュニケーションのとれない人、周りの空気や人の気持ちが読めない人が増えているようだ。なぜ読めないのだろうか。それは、自分のことばかり考え、他者への関心が薄れてきているからに違いない。

ところで、かつての日本では、「ⓓ行間を読む」というような言葉がよく使われていた。元々文学作品などにおいて、文字では書かれていない書き手の真意をくみ取るという意味だったが、今は、会話の際に場の雰囲気や相手の気持ちを理解するという意味としても用いられている。日本人には、「間」を読む文化があるのだ。

宮川俊彦『行間力』より改変

＜例＞

① 気まずい　② 厳粛な　③ 華やかな

11. 次の<A>は文学作品の説明であり、<B>は作家の説明である。<A>の(1)～(4)の作品を書いた作家の説明を<B>のⓐ～ⓓから選び、順に書きなさい。また、(2)の作品名を書きなさい。さらに、ⓐの下線部に該当するものを書き、それを説明しなさい。[4点]

<A>

(1)「国境の長いトンネルを抜けると雪国であった」という書き出しで有名である。主人公の島村は上越の温泉で純粋な芸者駒子と、ひたむきな生き方をする葉子という少女に出会う。日本的な美の世界を描いたことにより、1968年度ノーベル文学賞が与えられた。

(2) 松山の中学校を舞台に、英語教師として勤めた経験がもとになった小説である。「親譲りの無鉄砲で小供の時から損ばかりしている」という、単純で正義感の強い江戸っ子の主人公が、ずるがしこい生徒や教師と闘う痛快な青春物語である。

(3)「雨ニモマケズ 風ニモマケズ 雪ニモ夏ノ暑サニモマケヌ 丈夫ナカラダヲモチ …(中略)… 」という誰もがよく知るこの詩は、作家の死後に発見された。これは晩年の理想像を記した、もっとも美しい詩と評価される。

(4) 被差別部落出身の青年教師瀬川丑松は自分の素性に苦悩しながら、それを隠せという父の戒めを破り、やがて社会の偏見に挑戦していく。社会の暗い面を正面からとらえて問題を提起した画期的な作品である。

<B>

ⓐ『若菜集』の浪漫的叙情詩人として文名を得た後、散文の方向に道を転じた。田山花袋の『蒲団』とともに自然主義文学の基礎を作った。また、『春』、『家』などの小説を発表し、大正期に流行した日本独特の小説スタイルの基礎を確立した。

ⓑ はじめ浪漫的な色彩に富んだ作品を発表して文壇に登場し、以後自然主義に対して個人主義的理想主義をかかげ、余裕派と称された。潔癖な道義観と深刻な心理追究とに貫かれた作風で、近代文学を代表する一人である。

ⓒ「文芸時代」を創刊し、感傷的なイメージや象徴を重複する作風が、新しい小説のあり方を示し、新感覚派と称された。戦後は日本の伝統的な美を追求する姿勢を見せている。

ⓓ その生涯は敬虔な求道者に似て、農民を限りなく愛し農業と生活の改善に尽くした。彼の芸術は、宗教と科学との融合した神秘壮大の宇宙観に支えられ、人間の善意を信じた肯定的なものである。

<수고하셨습니다.>

한국교육과정평가원